

歴史探訪

クラブ

其の 203

History Inquiry Club



文化財課 ☎22-1720
(博物館) FAX 22-2028

田原の隠れた「伝説」と「物語」

日常ではほとんど意識することは
ありませんが、私たちが住んでいる
まちには、少し目を凝らしてみると、
実は小さな「伝説」や「物語」が隠
された場所があります。

今回は、かつて田原の町の中心で
あった田原城付近から、徒歩15分程
度で見て回れる範囲に存在する、三
つのスポットを紹介します。これら
の場所には歴史的な出来事と強く結
び付いた、田原の人々が語り継いで

きた言い伝えが存在します。

一つ目のスポットは「ひいちいけ」
です。田原町北番場にある神明社の
前にこの池の跡は存在します。この
池の字は今は「燧池」という字が当
てられています。この付近は、大
勢力を誇っていた今川義元と田原の
戸田堯光の間で行われた田原城の攻
防戦（1547年）の際に主戦場と
なり、池

の水が血
で染まっ
たそうで
す。そこ
から緋色
の血の池
「緋血池」
と名が付
いたという事です。
二つ目のスポットは田原町三軒家
にある「藤原正真の墓」です。この



●ひいちいけ

「藤原正真」という人物は、徳川家
随一の豪傑であった本多忠勝が愛用
した「蜻蛉切」という名槍を鍛えた
といわれています。この「蜻蛉切」は、
穂先に触れたとんぼが両断されるほ
ど鋭く、天下三名槍の一つに挙げら

れるほど
の傑作で
す。

しかし、
正真の来
歴には不
明な点が
多く、さ
らに、確
実に彼が
作ったといえる作品を今では見るこ
とができません。まさに「謎の名工」
というべき人物です。
三つ目は田原町犬塚にある「犬
塚」です。字名とされるほど重視さ
れた「塚」なので、現地に行けばす
ぐ見つかると高をくくっていたので
すが、見つけることができませんで
した。



●藤原正真の墓

そこで、付近の方々に聞き取りを
し、「犬塚」の所在について詳しく
知っている方の協力を得て、ついに
「塚」にたどり着くことができました
。その方も何十年もこの「塚」に
は近付かなかったとのこと、塚は
深いやぶに囲まれていました。塚自
体は岩を三つ並べた素朴なもので
す。

この「犬
塚」は徳
川秀忠が
田原で狩
りを行っ
た際に、
死んだ犬
を弔った
場所とさ
れており、
かつての田原は野生動物が多く生息
し、將軍が来訪するほどの絶好の狩
り場であったことをしのばせるもの
です。



●犬塚の岩の一つ

これらの小さな「伝説」や「物語」
は、市内に住んでいる人にもほとん
ど知られていません。辛うじて物語
の「依り代」となる塚や墓が存在す
ることで、現代まで語り継がれてき
ました。時代の変化によって、それ
らの「依り代」が物理的に壊された
り、忘れられてしまえば、それらの
物語は消えてしまうでしょう。
皆さんも先人が語り継いできた地
域の「伝説」や「物語」を忘れない
ためにも、身近な「依り代」を探し
てみませんか。

(学芸員 山本隆大)